

平成15年度 岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
兼東海・全国高等学校総合体育大会岐阜県予選会
2日目:平成15年5月31日(土)
会場:メモリアルセンターふれ愛ドーム・岐阜農林高校

男子の部

<審判>

Aブロック 決勝	美濃加茂	87	$\begin{bmatrix} 25 - 19 \\ 19 - 22 \\ 25 - 15 \\ 18 - 22 \end{bmatrix}$	78	大垣北	田口浩三・清水潤
Bブロック 決勝	岐阜総合	117	$\begin{bmatrix} 39 - 18 \\ 19 - 20 \\ 30 - 20 \\ 29 - 12 \end{bmatrix}$	70	岐阜	杉山広之・山田祐治
Cブロック 決勝	大垣工業	89	$\begin{bmatrix} 31 - 20 \\ 19 - 23 \\ 23 - 12 \\ 16 - 18 \end{bmatrix}$	73	大垣商業	打江謙二・下村勝彦
Dブロック 決勝	岐阜農林	86	$\begin{bmatrix} 19 - 20 \\ 26 - 16 \\ 19 - 18 \\ 22 - 14 \end{bmatrix}$	68	長良	松野瑞穂・棚橋英一
決勝リーグ	岐阜総合 (1勝)	99	$\begin{bmatrix} 20 - 26 \\ 32 - 23 \\ 25 - 16 \\ 22 - 17 \end{bmatrix}$	82	美濃加茂 (1敗)	室谷伸治・大野貴司

両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。美濃加茂は 足立を中心に1対1を仕掛ける。鋭いドライブで得点し、岐阜総合は 梅田のドライブ、原のポストシュートなどで応戦する。第2ピリオド途中までは先行する美濃加茂を岐阜総合が追いかける展開であったが、岐阜総合が 縣の3点シュート、原のリバウンドシュート、さらに交代出場の 水口の思い切りのよいレイアップで勢いを取り戻すと、一気に逆転した。前半は岐阜総合が52-49とリードして折り返し

第3ピリオドに入ると、美濃加茂は 林(197cm)を投入し、ゴール下で頑張るものの、逆に全体の動きが悪くなり、単調なオフェンスとなる。岐阜総合は速攻に走る 佐守、縣のシュートが次々に決まり出し、次第に点差を開いていく。第4ピリオドに入っても岐阜総合の動きは衰えず、

縣を中心に続々と速攻を決めていく。結局、後半に入って本来の持ち味である速攻が生きてきた岐阜総合が、新人戦優勝の美濃加茂を下し、決勝リーグで大きな1勝をあげた。(山田祐治)

決勝リーグ	岐阜農林 (1勝)	96	$\begin{bmatrix} 21 - 12 \\ 15 - 22 \\ 15 - 18 \\ 22 - 21 \\ 23 - 9 \end{bmatrix}$	82	大垣工業 (1敗)	増田博徳・藤浪元明
-------	--------------	----	--	----	--------------	-----------

岐阜農林はオールコートマンツーマン、大垣工業は3-2ゾーンディフェンスでスタートする。立ち上がり、大垣工業は相手の激しいディフェンスを攻めあぐみ、シュートが決まらない。岐阜農林はリバウンドからの速攻、3点シュート、カットインがよく決まって流れをつかみ、第1ピリオドを21-12とリードして終了。第2ピリオドの大垣工業は、ディフェンスをマンツーマンに変えて脚が動き出し、オフェンスでは 福吉が連続10ポイントを決めるなど追い上げを見せる。前半は岐阜農林が36-34と2点リードで折り返した。

第3ピリオドは一進一退の攻防が続いた。第4ピリオドに入ると大垣工業の 福吉が次々とシュートを決め、残り2分には11点をリードして試合が決まったかと思われた。しかし、粘りを見せる岐阜農林は 中奥が連続3本の3点シュートを決め、最後は終了のブザーと同時に4本連続となる3点シュートを決めて、延長戦に持ち込んだ。延長の岐阜農林は、インターセプトやエンドスローインからのフォーメーションプレーで 二村らが次々とシュートを決めて勢いを維持した。結局、96-82で岐阜農林が勝利して、伝統の力を見せつけた。(西脇勝己)

女子の部

<審判>

Aブロック 決勝	岐阜女子	158	$\begin{bmatrix} 49 - 9 \\ 36 - 8 \\ 43 - 11 \\ 30 - 10 \end{bmatrix}$	38	多治見北	林 龍幸・長屋 貴
Bブロック 決勝	県岐阜商	59	$\begin{bmatrix} 11 - 6 \\ 9 - 15 \\ 20 - 14 \\ 19 - 14 \end{bmatrix}$	49	加 茂	田中良夫・宮崎泰彦
Cブロック 決勝	高山西	56	$\begin{bmatrix} 15 - 16 \\ 16 - 6 \\ 17 - 14 \\ 8 - 11 \end{bmatrix}$	47	関商工	古田憲司・小野卓也
Dブロック 決勝	多治見西	72	$\begin{bmatrix} 21 - 14 \\ 21 - 11 \\ 13 - 22 \\ 17 - 11 \end{bmatrix}$	58	大垣北	西脇勝己・小池匡弥
決勝リーグ	岐阜女子 (1勝)	106	$\begin{bmatrix} 27 - 8 \\ 28 - 18 \\ 27 - 9 \\ 24 - 24 \end{bmatrix}$	59	県岐阜商 (1敗)	相宮俊郎・神山元秀

試合開始から岐阜女子は、梅田の確実なゲームメイクのもとに 趙(190cm)、宮元(172cm)、岩田(172cm)の高さを活かし、ポストプレーで次々に得点をあげ、点差を開いていく。県岐阜商も出だしこそ相手の高さを攻めあぐんでいたものの、徐々に思い切りの良いプレーがスタートし、少しずつ反撃の糸口をつかんでいく。前半は岐阜女子が55-26と大きくリードして終わっ

第3ピリオドに入っても岐阜女子は相手を圧倒し、残り5分にはスタートメンバー全員をベンチに下げる余裕を見せた。その後両チームとも下級生主体のメンバーとなり、3人の1年生をコートに出した県岐阜商が果敢にゴールに向かい、一進一退の攻防となったが、前半の差を取り戻すには至らなかった。結局、岐阜女子が106-59で県岐阜商を下し、決勝リーグの1勝目をあげた。(宮崎泰彦)

決勝リーグ	高山西 (1勝)	70	$\begin{bmatrix} 20 - 22 \\ 17 - 18 \\ 20 - 12 \\ 13 - 10 \end{bmatrix}$	62	多治見西 (1敗)	後藤慎二・田中昭博
-------	-------------	----	--	----	--------------	-----------

両チームともハーフマンツーマンでスタートする。立ち上がりは互いに固さが見られ、ターンオーバーを繰り返す。高山西は 落伏、森川がドライブや速攻で加点。対する多治見西は、戸松の2本の3点シュート、鎌田の外角シュートなどで応戦した。第2ピリオドに入ると、高山西はディフェンスリバウンドからチーム全員がよく走り、岩佐が速攻などで9得点をあげる活躍を見せた。多治見西も 鎌田の外角シュートが要所で決まり、一步も譲らぬ展開。前半は、40-37と多治見西が3点のリードで折り返した。

第3ピリオドの高山西は、古本がポストプレーなどで11得点をあげる。多治見西は 鎌田が外角シュートなどで8得点と奮闘するものの、ミスが目立ち始める。57-52と高山西が初めてリードして第4ピリオドを迎える。脚の止まりだした高山西に対して、多治見西は 戸松や 前田が速攻で得点して追い上げ、残り3分には 鎌田のバスケットカウントで62-59と逆転に成功。高山西はそれまで不調だった 森川がこのゲーム初めての3点シュートを決めてすぐに同点とする。勢いに乗った高山西は、古本の2連続速攻で一気に相手を突き放し、70-62で決勝リーグの1勝目をあげた。(小池匡弥)